

招 へ い 研 究 者 報 告 書

被招へい研究者氏名	マケレレ大学 Yazidhi Bamutaze			
招 へ い 期 間	(西暦) 2023年2月19日 ~ 2023年3月18日			
受 入 機 関	社会安全学部			
受 入 担 当 者	所 属	社会安全学部	資 格	准教授
	氏 名	城下 英行		
講演会実績				
<p>○研究者向け講演会タイトル: Towards optimal contribution to the sustainability agenda through education, research and innovations on environmental risk: An African institutional and societal context</p> <p>○日時: 2023年3月16日(木) 17:00~18:00</p> <p>○概要: ウガンダの中心的な国立大学であるマケレレ大学を事例にウガンダにおける高等教育制度についての紹介があった。同大学の大学院には防災に関するコースが設置されており、特に社会安全学部の教員にとって有益な話を伺うことができた。発展途上国に設置されている国立大学ということもあり、国家の発展の方針に沿った教育・研究を行っているということであった。</p> <p>○学生向け講演会タイトル: Ecosystems and livelihoods at crossroads in Uganda's fragile landscapes: Is resilience to land degradation and disaster risk more of a myth than a reality?</p> <p>○日時: 2023年3月14日(火) 16:20~17:50</p> <p>○概要: Bamutaze氏がウガンダで実施している土壌侵食に関する研究についての詳細な紹介があった。土地利用と地形を条件に土地を分類し、それぞれの土地でどの程度の侵食があるのかということが実際の測定方法とともに紹介された。また、そうした侵食の対策を進める上で土地利用者の認識が重要であることから、土地利用者に対して実施した侵食に関する認識を問うインタビュー調査結果についても紹介があり、これら2つのデータを組み合わせた結果についても言及があった。地理学をバックグラウンドとする同氏ならではの文理両面からのアプローチは、大変に強い説得力を持っており、分野を問わず学ぶべき点の多い講演であった。</p>				